



★ 環境に優しい、軟弱土改質剤

# ソイルセーフ®

(SX820)

軟弱土にソイルセーフ®を添加・攪拌することで改質できます。



軟弱土

ソイルセーフ®  
添加・攪拌



改質土

## 〈特 徴〉

- ・安全性の高い改質剤です。
- ・紙オムツの吸水剤と同じ原料です。
- ・改質後は即時搬出が可能となります。

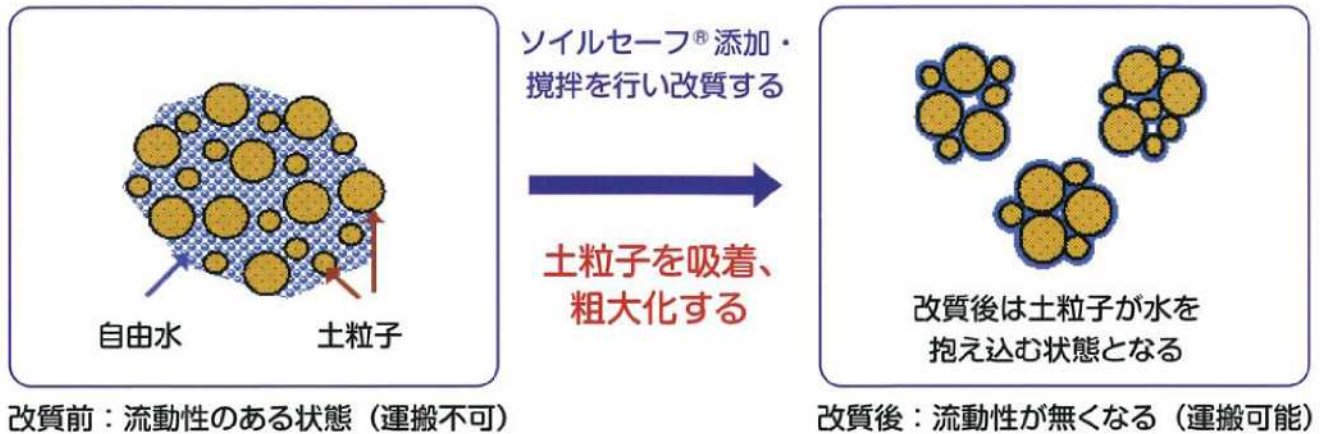
## 〈使用に関して〉

- ・含水比 100% 程度までは、本製品で改質可能です。  
(土質によっては、含水比 200% 程度でも改質できる場合があります。)
- ・標準添加量は、泥土、浚渫土 1m<sup>3</sup> あたり 1kg から 2kg です。
- ・添加量は処理対象土の性状により異なりますのであらかじめご確認下さい。
- ・改質土に強度が必要な場合は、ソイルセーフ®と固化材の併用、もしくは天日乾燥養生を行うことで、強度が得られます。

株式会社 テルナイト

## ・改質のメカニズム

1. 掘削泥土、浚渫土にソイルセーフ®を添加・攪拌する事で自由水を吸水します。
2. 溶解したソイルセーフ®が土粒子を皮膜しながら包含し塊を形成します。
3. 機械攪拌を行う事で粒状化土粒子となります。



ソイルセーフ®による改質後は土が粒状化し、空隙が生じることから空気と接触しやすくなります。

その結果、水分の乾燥が促進され、土本来の強度が発現しやすくなります。

## ・ソイルセーフ®の添加量について

ソイルセーフ®の添加量は原土をサンプリングし、配合試験を実施して求めます。

配合試験については現場でのビーカー試験、もしくは当社技術研究所にて受け賜ります。

## ・ソイルセーフ®の性状

製品外観	白色粉末
pH	5.5～6.5 (1wt%水溶液)
嵩比重	0.6～1.0g/cm <sup>3</sup> (軽層～重層)
水分	10%以下

## ・安全性データ

魚類急性毒性試験：死亡率 0% (ヒメダカ 180mg / l 96hr)

計量証明書：26項目全て不検出 (0.1%水溶液)

ソイルセーフ®は、PRTR 法規制物質を含んでおりません。

## ・施工例

### 溜池浚渫土の改良工事

浚渫土含水比 100%

ソイルセーフ®添加量 1.5kg / m<sup>3</sup>



ソイルセーフ®散布状況



攪拌改良状況

※現場での攪拌はバケットミキシング、スタビライザー等、攪拌機の使用を推奨します。

## ・攪拌機付きバケット

当社所有バケットミキシング

0.7m<sup>3</sup> バックホウに適合

(レンタルが可能ですのでお問合せ下さい)



## ・ソイルセーフ®納入実績

納入年月	工種	施工場所
17年11月	建築工事	愛媛県
12月	溜池浚渫工事	香川県
12月	溜池浚渫工事	兵庫県
18年2月	溜池浚渫工事	大分県
3月	下水シールド工事	京都府
4月	溜池浚渫工事	兵庫県
7月	中間処理場	石川県
9月	中間処理場	福岡県
11月	推進工事	宮城県
19年1月	河川改修工事	北海道

納入年月	工種	施工場所
19年2月	溜池浚渫工事	大分県
3月	中間処理場	和歌山県
6月	中間処理場	石川県
6月	中間処理場	鹿児島
9月	河川改修工事	北海道
10月	中間処理場	北海道
12月	溜池浚渫工事	大分県
20年1月	調整池整備工事	東京都
2月	溜池浚渫工事	大分県
21年1月	溜池浚渫工事	奈良県

※本製品は有害物や危険なものではございませんが、事故防止の上で下記注意事項をお守り下さい。

#### 1. 応急措置

- ・吸入した場合は、十分にうがいをして下さい。
- ・皮膚に付着した場合は多量の水及び石鹸で洗い流して下さい。
- ・目に入った場合は、多量の水で十分に洗浄した後、医師の診断を受けて下さい。
- ・多量に飲込んだ場合は嘔吐させ、医師の診断を受けて下さい。

#### 2. 火災時の措置

- ・初期火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いて下さい。
- ・大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断して下さい。
- ・消火作業は、可能な限り風上から行って下さい。
- ・消火作業の際は、必ず保護具を着用して下さい。

#### 3. 漏出時の措置

- ・漏出物を直接河川や下水に流さないで下さい。
- ・漏出したものは、掃除具等により掃き集めて紙袋またはドラム等に回収して下さい。
- ・除去した後、転倒防止の砂を撒いて下さい。水分を含むと粘性を帯び、床等が滑り易くなるため、おが屑、土砂、ウエス等で吸着させ取り除いた後、雑巾などで良く拭き取って下さい。

#### 4. 取扱い及び保管上の注意

- ・ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等の保護具を着用して下さい。
- ・取扱い後は、手洗い、洗顔、うがい等を行って下さい。
- ・吸湿による製品固化の防止、製品のこぼれによる転倒防止に注意して下さい。
- ・容器破損（破袋）及び直射日光を避け、乾燥冷所に密封保管して下さい。

- ・ **荷姿**
- ・ 20kg クラフト袋
  - ・ 500kg フレコン袋



## 株式会社 テルナイト

#### ■本 社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町  
3丁目29番地  
共同ビル神保町3丁目2階  
TEL:03(5843)0010(代)  
FAX:03(3221)5061

#### 土木環境部

TEL:03(5843)0009  
FAX:03(3221)5061

#### ■東京技術センター 技術研究所

〒342-0045 埼玉県吉川市木売3丁目6番  
TEL:048(983)3482 FAX:048(984)1851

#### ■酒田工場

〒998-0064 山形県酒田市大浜1丁目2番14号  
TEL:0234(33)8811 FAX:0234(33)1371

#### ■西日本営業所

〒532-0003 大阪市淀川区宮原5丁目1番18号  
新大阪サンアールセンタービル2F  
TEL:06(6397)5249 FAX:06(6397)9681

#### お問い合わせ先

(株) テルナイト 土木環境部 TEL:03(5843)0009 FAX:03(3221)5061  
URL : <http://telnite.co.jp>

\*本カタログは、品質改良や仕様変更のために予告なしに変更する場合があります。

2009.7